



生徒用マニュアル

令和8年度
新研究用

※画面は開発途中のものです。
実際とは仕様が異なる場合があります。

まなびボックス^{プラス}とは

 まなびボックス^{プラス} は、自分の学びの足あとを記録し、自分自身の学びのふりかえりや次の学びに向けた調整に使うための学習管理システム(LMS)です。

デジタルブックである  Singブック 上の付箋やマーカー、メモや閲覧履歴、デジタルドリルである  Singドリル の学習履歴などを残して、確認するためには  まなびボックス^{プラス} の利用が必要となります。

まなびボックス^{プラス}

- ①ログイン
- ②デジタル教材へのアクセス
- ③先生からの課題の確認と実施
- ④学習結果のふりかえり

Singブック Singドリル

- ①「まなびボックスプラス」から入ると自動的に自分専用ページを表示
- ②デジタル教材の利用
⇒ 自学自習、先生からの課題実施
- ③デジタル教材の学習結果の記録

1. まなびボックス+^{プラス} にログインする

●先生から配付されたIDと仮パスワードを使ってログインします。

下のURLからログインページを開いてください。

<https://manabi-box-plus.sing.jp/>

右の二次元コードからもアクセス可能です。



2年A組2番

ユーザーID :

初期パスワード（はじめにログインするときにつかうパスワード） :

<https://manabi-box-plus.sing.jp/student/login>



ユーザーID

パスワード

ログイン

パスワードを忘れた場合は、先生に伝

ログインをタップ



MSアカウントでログイン



Googleアカウントでログイン

Copyright © Shingakusha Co., Ltd. All Rights Reserved.

先生から指示されたIDとパスワードを入力します。

⇒すべて半角英数字で入力してください。

⇒自分のクラスや出席番号に置き換えるよう指示された英数字も、すべて半角で入力してください。

ログイン後に、先生からGoogleやMicrosoftのアカウントと連携するよう指示があった場合は、次からは、このボタンからログインするようにしてください。

1. まなびボックス^{プラス}にログインする

●パスワード変更画面が表示されます。

最初のボックスには先生から伝えられた仮のパスワードを入れ、「新しいパスワード」のところには、先生から伝えられたものとは違うパスワードをいれましょう。

パスワードの変更をお願いいたします。

仮パスワード		①仮パスワードを入力します
新しいパスワード		②新しいパスワードを入力します
新しいパスワードの確認		

更新 キャンセル

③更新をタップします

④パスワードが更新されます

パスワードを更新しました。

閉じる

まなびボックス^{プラス}

ユーザーID		⑤ログイン画面に戻り、先生からもらったユーザーIDを入力します
パスワード		⑥②で入力した新しいパスワードを入力します

ログイン

パスワードを忘れた場合は、先生に伝えてください。

MSアカウントでログイン Googleアカウントでログイン

自分でパスワードを変更したあと、パスワードを忘れた場合は、先生に再発行してもらいましょう。

2. トップ（がくしゅう）画面の説明

●ログインすると、
トップ画面が
表示されます。

トップ画面が表示
されます。

デジタル教材に
取り組んだ結果
が表示されます。

SingCBTを使った
テストを実施した場合、
出題のポイントや結果
が表示されます。

このマニュアルが
表示されます。

パスワードやニックネームの変更は、
ここから行います。



The screenshot shows the 'がくしゅう' (Gakushuu) app interface. At the top, there's a header with 'まなびボックス+' (Manabi Box+) and '新学第十中学校 1年 01組 1番' (Shinshu Juhachuu Gaku 1-nen 01-gumi 1-ban). A 'ログアウト' (Logout) button is in the top right. Below the header, there's a notification bar with '3/25 【全生徒のみなさんへ】 始業式と入学式' (3/25 [To all students] Opening ceremony and school entrance ceremony) and a 'お知らせ一覧' (Notification list) link. The main content area is divided into two tabs: 'やること' (Things to do) and '自分から' (From myself). Under 'やること', there are several task cards for Japanese (国語) with titles like 'デジタル解説解答 国語ワーク' (Digital explanation/answer Japanese work), 'デジタルグラフィック資料 国語ワーク' (Digital graphic material Japanese work), and '「グラフィック資料」プラス資料 国語ワーク' ('Graphic material' plus material Japanese work). Each card shows page ranges and progress (e.g., '5/3まで'). A central card for '新研究(得点) 新研究' (New research (score) New research) shows '1回~1回' (1 time ~ 1 time). Under '自分から', there are cards for '古典そもそもQ&A 国語ワーク' (Classical Q&A Japanese work) and '「すらすら読解ガイド」プラス資料 国語ワーク' ('Surasura Reading Guide' plus material Japanese work). On the left sidebar, there are icons for 'がくしゅう' (Gakushuu), 'できたこと' (Things I did), 'SingCBT', a question mark (manual), and a gear (settings). Annotations with arrows point to these icons and various elements on the screen, explaining their functions.

2. トップ（がくしゅう）画面の説明

- トップ画面は、最初は「やること」画面（前のページ）が表示されています。
「自分から」タブをタップすることで、この画面が開きます。





3. アカウント連携

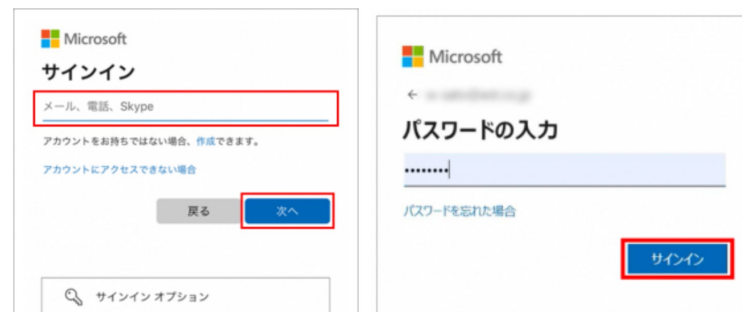
●画面左下の歯車マークをタップして設定画面を開きます。



左下歯車マークをタップ



先生の指示にしたがい、「MSアカウントを連携」か「Googleアカウントを連携」ボタンをタップします。



アカウントとパスワードを入力し、「次へ」等をタップしていきます。

画面は学校のシステムにより異なります。先生の指示にしたがって進めましょう。



学習ログの記録と確認ができる

- ・本誌の取り組み結果（得点）を入力すると、
結果に応じた難易度のフォロー問題(フォロードリル)に取り組める。
→フォロードリルと同じ内容を本誌の得点入力なしに利用することも可能
- ・5科共通企画のフォロードリル／デジタルドリルに加えて、
社会、数学、英語は教科独自のデジタルドリルにも取り組める。

対応機能	フォロードリルの おすすめ難易度表示	学習ログの 蓄積と確認	先生からの 課題配信	自主的な利用
本誌得点入力 →フォロードリル	✓	✓	✓	✓
デジタルドリル レベル1～3 ドリルのみの利用	✗	✓	✗	✓ ✗
社会・数学・英語 独自デジタルドリル	✗	✓	✓	✓ ✗

※デジタルドリルをドリルのみで利用する際には先生側での設定が必要です。先生の指示にしたがって利用しましょう。

フォロードリルについて

対応機能	フォロードリルの おすすめ難易度表示	学習ログの 蓄積と確認	先生からの 課題配信	自主的な利用
本誌得点入力 →フォロードリル	✓	✓	✓	✓
デジタルドリル レベル1～3 ドリルのみの利用	✗	✓	✗	✓ ※
社会・数学・英語 独自デジタルドリル	✗	✓	✓	✓ ※

※デジタルドリルをドリルのみで利用するには先生側での設定が必要です。先生の指示にしたがって利用しましょう。

【概要】 フォロードリルおよびデジタルドリル ご使用の流れ

※フォロー問題
の使い方は
2パターン

課題配信
(やること)

自分から

先生

得点記録用の
ブックを課題
として配信

生徒

配信された
ブックに本誌
の得点を入力

生徒

フォロードリルに取り組む

全先生
生徒

本誌の得点とフォロードリルの結果を
確認・管理

生徒

「自分から」内の
ブックより、教材の
ブックにアクセス

生徒

ブックに本誌の
得点を入力

A(A+)問題の
得点に応じて、
おすすめのレベル
の問題表示ボタン
に色がつく

デジタルドリル
のみの使用

自分から

生徒

「自分から」にある
デジタルドリルの
アイコンから直接
アクセスして使用

・使用には、先生側で設定が必要

・本誌得点入力による、デジタルドリルのおすすめレベル表示はなし

・間違えた問題のみを繰り返して取り組むこともできる

・フォロードリルの結果と、デジタルドリルのみでドリルを使用したときの結果はひとつにまとまる



4-1. 「やること」(配信された課題)からSingブックを開く場合

生徒用 がくしゅう画面

お知らせはありません。

トップ画面(「がくしゅう」画面)の「やること」タブに配信された課題が表示されます。

やること

自分から

国語

新研究(得点)
10/10 新研究
1回~1回 10/7まで

理科

理科

トップ画面(がくしゅう画面)から取り組む課題を選んで、タップします

使い方の説明が開きます

新研究 得点の入力・フォロー問題の使い方

① この画面右上の  ボタンをタップして、「学習記録」画面を開こう。

Singブック 学習記録

ページ	問題	得点	満点	残り	フォロー問題
12~13	1 漢字を学ぶ	50 /100	60 /100	110/200	  
16~17	2 熟語を学ぶ	60 /100	70 /100	180/200	  
20~21	3 漢字を学ぶ	70 /100	80 /100	190/200	  
30~31	4 文脈で漢字の熟語を学ぶ	50 /100	60 /100	90/200	  

X 閉じる

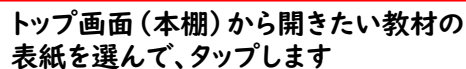
② 「学習記録」画面が開いたら、新研究の
A 問題の得点を **得点1** に、
B 問題の得点を **得点2** に入力し、
 点数を保存する ボタンをタップしよう。

③ **得点1** に入力された得点によって、
フォロー問題 のおすすめレベルが選定されるよ。
(オレンジ色で表示されます)
おすすめされたレベルをタップして、フォロー問題に取り組んでみよう！

課題完了後は、「やること」画面からは課題の表示が消え、できたこと画面に課題履歴として残ります。



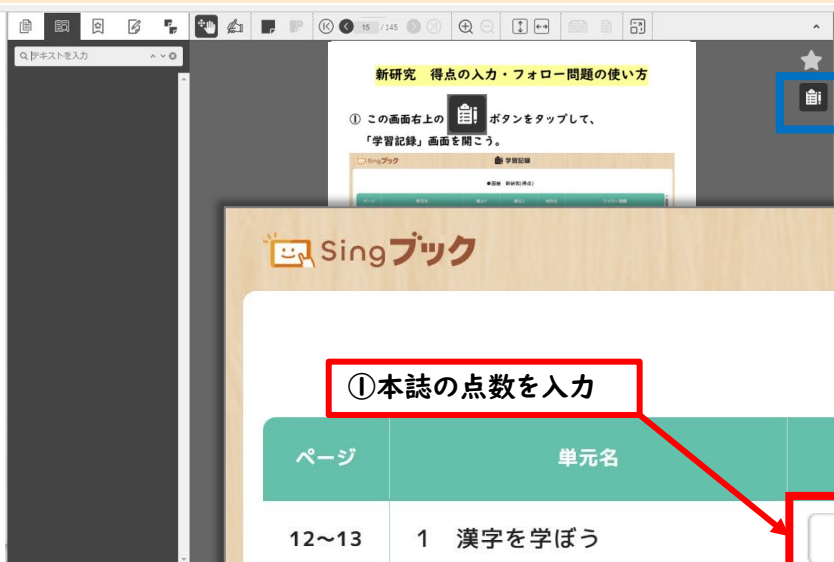
Singブックトップ画面



使い方の説明が開きます



5. 学習記録画面にて得点を入力



画面にあるこのボタンをタップすると、
学習記録画面に移動します。

①本誌の点数を入力

●国語 新研究(得点)						
ページ	単元名	得点1	得点2	合計点	フォロー問題	
12~13	1 漢字を学ぼう	/100	/100	0/200	> レベル①	> レベル②
16~17	2 熟語を学ぼう	/100	/100	0/200	> レベル①	> レベル②
20~21	3 語句を学ぼう	/100	/100	0/200	> レベル①	> レベル②
30~31	4 文脈で語句の意味を考えよう	/100	/100	0/200	> レベル①	> レベル②
34~35	5 展開をとらえよう	/100	/100	0/200	> レベル①	> レベル②
38~39	6 心情をとらえよう	/100	/100	0/200	> レベル①	> レベル②

②「点数を保存する」をクリックすると、
「まなびボックスプラス」に保存されます

× 閉じる

※先生から課題が配信されたら、実施済みの場合も保存ボタンを押してください。

👍 点数を保存する



6. フォロードリルに取り組む

Singブック

学習記録

●国語 新研究(得点)

③保存されたA(A+)問題の得点に応じて、レベルのフォロードリルボタンがオレンジ色に変わります
別のレベルの問題にも取り組めます

ページ	単元名	得点1	得点2	合計点	フォロー問題
12~13	1 漢字を学ぼう	100 /100	/100	100/200	> レベル① > レベル② > レベル③
16~17	2 熟語を学ぼう	/100	/100	0/200	> レベル① > レベル② > レベル③
20~21	3 語句を学ぼう	/100	/100	0/200	> レベル① > レベル② > レベル③
30~31	4 文脈で語句の意味を考えよう	/100	/100	0/200	> レベル① > レベル② > レベル③
34~35	5 展開をとらえよう	/100	/100	0/200	> レベル① > レベル② > レベル③
38~39	6 心情をとらえよう	/100	/100	0/200	> レベル① > レベル② > レベル③

× 閉じる

※先生から課題が配信されたら、実施済みの場合も保存ボタンを押してください。

✓

点数を保存する

デジタルドリルのみを 自学自習で使う方法

対応機能	フォロードリルの おすすめ難易度表示	学習ログの 蓄積と確認	先生からの 課題配信	自主的な利用
本誌得点入力 →フォロードリル	✓	✓	✓	✓
デジタルドリル レベル1～3 ドリルのみの利用	✗	✓	✗	✓ ※
社会・数学・英語 独自デジタルドリル	✗	✓	✓	✓ ※

※デジタルドリルをドリルのみで利用するには先生側での設定が必要です。先生の指示にしたがって利用しましょう。



8. デジタルドリル画面の説明

●デジタルドリルの教科別のアイコンをタップすると、デジタルドリルの目次が開きます

①「自分から」のタブを開いて、Singブックのアイコンや、デジタルドリルなどのアイコンが表示されている場合は、自学自習で使用できます

②デジタルドリルのアイコンをタップすると目次が開きます

Singブック

まとめ教材 国語

アイスプラネット 漢字・語句

難易度 最高得点 最終回答日: 解答スタート

アイスプラネット 文章読解

難易度 最高得点 最終回答日: 解答スタート

文法1 単語をどう分ける? 自立語 文法

難易度 最高得点 最終回答日: 解答スタート

目次画面の「解答スタート」をタップすると、ドリルの問題画面が表示されます

問題

____線部の片仮名を漢字に直したものはどれか。

○すてきなユメを見て、幸せな気持ちになる。

夢 罪 写 芽

こたえあわせ

9. できたことの確認

できたこと画面

完了済の課題の個数が表示されます。

2

「できたこと」画面の「できたこと」タブからは、先生から出された課題のうち、完了済のものが課題ごとに表示されます。

締め切りがない課題については、課題を終えても、「できたこと(この画面)」に課題が移りません。記録として残した理解度や得点は、「全単元一覧」から確認することが可能です。



レベル	ページ・回	難易度	〇の数	実施日	回数	種別	得点	満点	回数
漢字を学ぼう	1-1	応用	0/5	9/17	1	A問題	100	100	3
						B問題	100	100	3

ドリルの〇の数や本誌の得点を参考に、苦手なところのふりかえりをしたり、得意なところをさらに深めたりしましょう。

「全単元一覧」タブからは、教科・教材ごとに単元別の学習状況の確認ができます。

フォロードリルの結果と、デジタルドリルのみでドリルを使用したときの結果はひとつにまとまります